

令和 6 年度 第 1 回東海村総合教育会議 議事録

日時	令和 6 年 1 2 月 1 7 日 (火) 1 3 : 0 0 ~ 1 4 : 3 0
場所	東海村役場行政棟 庁議室
出席者	山田 修村長, 伴 敦夫教育長, 藤田 秀美教育長職務代理者, 渡辺 克平教育委員, 小林 祐子教育委員, 棚嶋 裕季子教育委員
議題	① 小規模特認校の現状について ・ 村立照沼小学校では, 特色ある教育を行い, 学校公開等で保護者向けに周知を行っている。 ・ 小規模特認校制度を利用している保護者向けのアンケートでは, 担任の先生が目が行き届いている, 様々な季節行事があり体系的に学ぶことができている等の意見のほか, 送迎や P T A 活動に対する負担軽減について意見をいただいている。 ・ 照沼小学校区においては, 引き続き児童の減少が見込まれ, 新たに小規模特認校制度を利用し始めた児童も減少傾向にある。送迎の問題の解決や, 小規模特認校として今後, どのような特色を打ち出していくかが課題である。 ・ 送迎の負担軽減については, 公平性や平等性も視野に入れて考えていく必要がある。 ・ 小学校の取組とは別に, 若い世代が住みやすくなるような地域の活性化が必要となる。
	② 不登校の現状及び校内フリースクールについて ・ 全国的に不登校児童生徒が増加傾向にある。 ・ 今年度から開所した校内フリースクールについて, 週 3 回の開所としていたが, 生徒からの要望があり, 1 1 月からは週 4 回に変更, 来年度からは毎日開所できるよう検討している。 ・ 校内フリースクールの利用者は両中学校とも 1 日 1 0 名前後で増加傾向にある。登校を渋っていた生徒が校内フリースクールに登校できるようになるなど成果が挙げられている。環境の整備及び支援員の増員を検討し, さらに充実させていく。 ・ 悩んでいる保護者もいる。情報発信で保護者を支援していくことも大切である。 ・ 今後は校内フリースクール, 教育支援センターたんぼぼの活用とあわせて民間事業者によるフリースクールの開所等, ニーズに応じた居場所づくりを考えていく必要がある。
	① 学校部活動の地域移行について ・ 令和 6 年度は, 陸上種目に加え, 「バスケットボール」, 「卓球」, 「弓道」のほか, 「バドミントン」, 「男子バレーボール」の種目において地域クラブ活動を開始し, 令和 6 年 1 2 月 1 日時点において 1 2 7 名の生徒が参加している。 ・ 令和 7 年度は「サッカー」, 「野球」の 2 種目の地域クラブ化に向け, 関係団体と協議中。 ・ 地域クラブ活動への参加費として受益者負担 (5 0 0 円/回) を求めている。令和 8 年度から段階的に平日にも活動が行われる見通し。受益者負担額の見直しが必要になることから, スマイル東海と連携して参加者・保護者の理解促進に取り組む。 ・ 地域移行にあたっては, きちんと指導者に報酬を支払う必要があり, 認識を変えてもらう必要がある。
報告	

	子どもたちからダンスやeスポーツをやりたいという声が聞かれる。今後部活動の地域移行を進めると同時に活動場所の確保をしていく必要がある。
	② 東海村電子図書館について - 電子図書館に1番多くログインした人は811回／年。 - アンケートでは「図書館まで出向くことなく自由に借りられて大変便利」「今後書籍が増えることを願っている」という意見が挙がった。一方で、電子図書館も良いが図書館を無くさないでほしいという意見もあった。 - 電子図書館の普及のため、図書館やコミュニティセンターに住民が自由に触れる端末を置いたり、高齢者向けPRの工夫を考えたりすると利用が増えるかもしれない。
次回 日程	未定